

平成 28 年 2 月 25 日

先進医療として行われる粒子線治療（陽子線治療，重粒子線治療）の適応症と統一治療方針について

公益社団法人日本放射線腫瘍学会

本邦で先進医療として行われる粒子線治療（陽子線治療，重粒子線治療）については，その実施状況を明らかにするとともに，有効性・安全性について適切な評価を実施してゆく必要があります。

そこで日本放射線腫瘍学会は，先進医療として行われる粒子線治療の適応症と統一治療方針を作成しました。これにより，国内の全治療施設が適応患者に対して統一化した治療方針をもちいて粒子線治療を行い，その結果を全例登録することで，将来にわたり評価可能な体制で粒子線治療を実施して行くことが可能となります。

適応症と統一治療方針の作成に際しては，日本放射線腫瘍学会・粒子線治療委員会が中心となり，全実施施設が参加して討議を重ね，現時点で今後も先進医療として実施し評価することが適当と考えられた疾患・病態を定め，治療方針を絞り込み統一化する作業を行いました。なお当面の間，ここに定めた疾患のうち上記手順で絞り込まれた症例のみに粒子線治療を適応することとしますが，個々の疾患の照射方法（線量と回数等）については，全粒子線治療施設に加えて粒子線治療施設以外の放射線治療の専門医を含めたワーキング・グループにて，必要に応じて改善，改訂を行う予定としております。また，平成 28 年 4 月 1 日以前に粒子線治療が既の実施された症例に限ってはこの限りではないものとします。今後とも，各疾患の専門家，ガイドライン委員会などの指導を仰ぎながら，各界の意見を積極的に取り入れることで客観性，透明性を担保しつつ運用して行きます。

統一治療方針に係る適応症一覧（陽子線）

適応症	組織型等
1. 脳脊髄腫瘍	神経膠腫
	神経膠芽腫
	胚細胞腫瘍
	髄膜腫
	下垂体腫瘍
	頭蓋咽頭腫
	髄芽腫
	上衣腫
	非定型奇形腫様／ラブドイド腫瘍
	原始神経外胚葉腫瘍

	その他の稀な脳腫瘍
2. 頭頸部腫瘍	鼻副鼻腔扁平上皮癌
	頭頸部扁平上皮癌
	頭頸部悪性黒色腫
	嗅神経芽細胞腫
	腺様嚢胞癌
	唾液腺腫瘍
	頭頸部非扁平上皮癌
3. 肺・縦隔腫瘍	限局性肺癌
	局所進行非小細胞肺癌
	縦隔腫瘍
4. 消化管腫瘍	局所進行食道癌
	局所再発性直腸癌
5. 肝胆膵腫瘍	肝細胞癌
	肝内胆管癌
	胆道癌
	局所進行膵癌
6. 泌尿器腫瘍	前立腺癌
	膀胱癌
	腎癌
	精巣腫瘍
7. 乳腺・婦人科	局所進行子宮頸癌, 体癌
8. 骨軟部腫瘍	脊索腫、軟骨肉腫
	骨肉腫
	他の稀な骨軟部肉腫
9. 転移性腫瘍	転移性肺腫瘍 (3 個以内)
	転移性肝腫瘍 (3 個以内)
	転移性リンパ節

統一治療方針に係る適応症一覧（重粒子線）

適応症	組織型等
1. 頭頸部腫瘍	非扁平上皮癌及び涙腺癌
	頭頸部悪性黒色腫
	頭頸部扁平上皮癌
2. 肺・縦隔腫瘍	限局性肺癌
	局所進行非小細胞肺癌
3. 消化管腫瘍	局所進行食道癌
	局所再発性直腸癌
	大腸癌術後骨盤内再発
4. 肝胆膵腫瘍	肝細胞癌
	肝内胆管癌
	切除可能膵癌（術前照射）
	局所進行膵癌
5. 泌尿器腫瘍	前立腺癌
	腎癌
6. 乳腺・婦人科	局所進行子宮頸癌
	局所進行子宮体癌
	婦人科領域悪性黒色腫
7. 転移性腫瘍	転移性肺腫瘍（3個以内）
	転移性肝腫瘍（3個以内）
	転移性リンパ節